

### 第三期県立高等学校再編計画案(令和5年7月4日公表)からの主な変更点

下記の他、文言等の軽微な加除修正があります。

頁等	変更前	変更後
はじめに(表紙裏)		〔追加〕
基本計画(P8) (1) 未来共創型専門 高校	未来共創型専門高校(仮称)  ア 6次産業化やデジタルトランスフォーメーション等により産業の融合や異業種間の連携が拡大している状況を踏まえ、農業や工業、商業などの専門分野における将来のスペシャリストとして必要な知識や技術はもとより、幅広い分野の知識を持つ柔軟な発想のできる人材を育成します。	〔(仮称)の削除〕  〔各学科の専門性の確保について明示〕 ア 農業や工業、商業などのそれぞれの専門分野の学習を深め、将来のスペシャリストとして必要とされる知識・技術及びそれらを活用する能力を持つ人材を育成します。 イ 6次産業化やデジタルトランスフォーメーション等により産業の融合や異業種間の連携が拡大している状況を踏まえ、幅広い分野の知識を持ち、柔軟な発想によってそれらに関連付け、応用したり発展させたりすることができる人材を育成します。
参考資料(P7)		〔資料の追加〕 未来共創型専門高校の概要 単位制高校の概要
前期実行計画(P2) ① 宇都宮東高校 及び附属中学校	イ 1学年の定員は、140人とします。	〔定員の変更〕 イ 1学年の定員は、120人とします。
前期実行計画(P3) ② 小山高校	イ 1学年の定員は、140人とします。	〔定員の変更〕 イ 1学年の定員は、120人とします。
前期実行計画(P4) (3) 学校の統合等		〔脚注の追加〕 【上都賀】上都賀地区においては、5校を2校に再編するに当たり、新校における学びの質の更なる充実を図れるよう、学科の構成や配置を見直します。
前期実行計画(P5) ② 鹿沼南高校と 鹿沼商工高校の 統合		〔脚注の追加〕 【機械・土木系、電気・情報系の2学科】今市工業高校の機械科・電気科・建設工学科における学習内容を移設し、多くの分野の学びの機会を確保できる学科の構成とします。
前期実行計画(P6) ③ 今市高校と 今市工業高校と 日光明峰高校の 統合	イ 新校は、総合学科高校とし、スポーツに関する系列、工業に関する系列、福祉に関する系列を新たに導入します。	〔普通系系列の充実等の追加〕 イ 新校は、総合学科高校とします。設定する系列(総合選択科目群)については、今市高校の系列(人文・社会、情報・商経、生活デザイン、芸術文化、自然科学)を見直し、スポーツに関する系列、工業に関する系列、福祉に関する系列を新たに導入するほか、大学進学等を希望する生徒に対応する普通系の系列や、観光など地域に関する学びの充実を図ります。  〔脚注の追加〕 【工業に関する系列】電子情報系の系列とします。なお、今市工業高校における機械や土木、電気の分野の学びについては、鹿沼南高・鹿沼商工高新校の工業に関する学科に移設し、上都賀地区内で学びの機会を確保します。

頁等	変更前	変更後
前期実行計画(P7) ④栃木農業高校と 栃木工業高校と 栃木商業高校の 統合	オ 令和8(2026)年度に栃木農業高校の4学科を生物生産系、食品加工系の2学科2学級に改編します。	〔学科名の決定〕 オ 令和8(2026)年度に栃木農業高校の4学科を農業科学科(40人)、食品科学科(40人)の2学科に改編します。
前期実行計画(P8) ⑤真岡北陵高校と 真岡工業高校の 統合	イ 新校は、農業に関する学科(2学級)、工業に関する学科(3学級)、商業に関する学科(1学級)を併置し、未来共創型専門高校(仮称)とします。	〔設置学科及び定員の変更〕 イ 新校は、農業に関する学科(80人)、工業に関する学科(120人)、商業に関する学科(20人)、福祉に関する学科(20人)を併置し、未来共創型専門高校とします。
	ウ 新校は、真岡工業高校の校地を主に使用しますが、農業に関する学科の実習等で真岡北陵高校の農場等を引き続き使用します。	〔使用校地の変更〕 ウ 新校は、真岡北陵高校の校地を使用します。
	エ 令和8(2026)年度に真岡工業高校の機械科と生産機械科を機械系学科1学級に改編します。	〔学科名の決定〕 エ 令和8(2026)年度に真岡工業高校の機械科と生産機械科を機械システム科(40人)に改編します。
	オ 令和8(2026)年度に真岡北陵高校の介護福祉科の募集を停止します。	〔介護福祉科の存続〕 〔同科と総合ビジネス科の定員の変更〕 オ 令和8(2026)年度に真岡北陵高校の総合ビジネス科の募集定員を20人、介護福祉科の募集定員を20人とします。
		〔脚注の追加〕 【真岡北陵高校の校地】真岡工業高校の第二グラウンドも部活動で使用します。
前期実行計画(P9) ⑥那須拓陽高校と 那須清峰高校の 統合	エ 令和7(2025)年度に那須清峰高校の機械科と機械制御科を機械系学科1学級に改編します。	〔学科名の決定〕 エ 令和7(2025)年度に那須清峰高校の機械科と機械制御科を機械システム科(40人)に改編します。
前期実行計画(P10) (4)規模の特例 (特例校) 【益子芳星高校】	イ 益子芳星高校では、令和6(2024)年度から多様な学びに重点を置く単位制を導入します。さらに、令和8(2026)年度からは新たに福祉に関するコースを導入します。	〔福祉コース導入の撤回〕 〔商業科目等の充実の追加〕 イ 益子芳星高校では、令和6(2024)年度から多様な学びに重点を置く単位制を導入し、商業などの職業系専門科目や地域の特色を生かした教科・科目などの充実を図ります。
前期実行計画(P10) (5)学科の改編 【矢板高校】	令和8(2026)年度に矢板高校の機械科と電子科の2学科2学級を統合し、工業に関する学科1学級に改編します。その際、引き続き機械と電子に関する学習の機会を維持できるよう、コース制を導入するなど教育課程を工夫します。	〔学科名の決定等〕 令和8(2026)年度に矢板高校の機械科と電子科の2学科を統合し、工業システム科(40人)に改編します。その際、引き続き機械と電子に関する学習の機会を維持できるよう、選択科目を開設するなど、教育課程を工夫します。